

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	臨床看護技術(感染防止技術)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	12 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	弓場 理紗子	実務経験と その関連資格	病院等で 7年勤務			
《授業科目における学習内容》						
感染予防の基礎を理解し、臨床看護に必要な標準予防策・感染経路別予防策などの感染防止技術を学ぶ。 生命の安全の確保するために、救命の連鎖の重要性を理解し、一次救命処置に関する知識と技術が習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
終講試験及び課題レポート、授業態度で総合的に評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシン・グラフィカ 基礎看護技術 基礎看護学③ メディカ出版(デジタル版)						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書を事前に読んでおくこと						
《履修に当たっての留意点》						
感染防止技術は個人だけの問題ではなく、患者さんや集団に与える影響が多大です。 重要かつ基本的な技術ですのでしっかりと身に付けてください。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	感染予防の意義、感染を成立させる要素と成立過程の理解が	教科書		
		各コマに おける 授業予定	1)感染予防の意義、感染症に関する法律 2)感染症を成立させる要素と成立過程			
第 2 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	感染を予防するためのプロセスと技法、院内感染対策につい て理解できる	教科書		
		各コマに おける 授業予定	1)感染症を予防するためのプロセス (手指衛生、個人防護具の着用、無菌操作、滅菌と消毒) 2)感染予防のための看護過程、援助方法 (スタンダードプリコーション、感染経路別予防対策) 3)感染症予防のための組織と援助技術に対する評価			
第 3 回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	感染経路別予防策を理解し、個人防護具の着脱ができる	教科書		
		各コマに おける 授業予定	1)流水と石鹸による手洗い 2)個人防護具の着用(マスク、エプロン、手袋の着脱) 3)滅菌手袋の着脱			
第 4 回	演習 形式	授業を 通じての 到達目標	原理・原則に基づいた無菌操作で、滅菌物を正しく取り扱うこと ができる	教科書		
		各コマに おける 授業予定	1)無菌操作ガウンの着脱方法 2)滅菌物の取り扱い(滅菌物の開け方、滅菌物品の渡し方、 薬液の注ぎ方、鑷子・鉗子の取り扱い)			
第 5 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	生命の安全の確保するために、救命の連鎖の重要性を理解 し、一次救命処置に関する知識が習得できる	教科書		
		各コマに おける 授業予定	1)救急時における迅速な介入の必要性、看護者の役割 2)一次救命処置(胸骨圧迫・気道確保・人工呼吸、AED、ハイ ムリック法) 3)応急処置(直接圧迫止血法、間接圧迫止血法、止血帯法)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	一次救命処置 (BLS) の技術が習得できる	教科書	
		各コマにおける授業予定	1)気道確保、人工呼吸 2)胸骨圧迫 3)AEDの使用 4)気道異物除去(ハイムリック法)		
第7回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第8回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			